

平成20年度かまくら人権施策推進委員会会議録

- 1 日 時 平成20年11月25日(火) 午後1時15分から2時30分
- 2 場 所 鎌倉市役所 802会議室
- 3 出席者 福原委員(副会長)、桑田委員、永野委員
【事務局】 田中課長、小杉課長補佐、飯田主事

4 会議の概要

〔1〕委嘱状交付

課長から任期の継続に伴い、委嘱状の交付を行い会長、副会長を選任した。

〔2〕審議事項

- (1) 人権施策推進指針の重点施策の主な事業及び進捗状況について(報告)
(事務局から、資料を基に説明を行った。次のような質疑応答が行われた。)

副会長：審議会等の女性委員のパーセンテージが上がっているようだが、逆に誰もいない審議会はあるのか。

事務局：女性の参画のまったくいない審議会というのは、93審議会中12の審議会でした。審議会の性格により女性の登用が困難な場合があります。

副会長：セクシャルハラスメントの相談は0件というのは結構だが、本当は相談がしたかったができなかったのか、あるいは全くなかったのか。

事務局：人事の職員課で職員課長と女性の保健師を含め3人で相談体制をとっている。職員研修などを実施して啓発に努めているところですが、相談としては0件ということです。

副会長：相談しにくい状況がないのかどうかという検討は続けてほしい。

児童虐待の相談件数146件となっています。相談をしてきた内訳はどういう方か。

事務局：ネットワークの会議場に出てきた件数で2回の協議会と、実務者会議4回の中で146件の報告がありました。虐待に関し、見ても聞いてもまず通報、という制度が出ています。そういうかたちの中で近隣の方や児童の関係者等からの通報とか、民生委員、警察、病院からの通報もあります。学校からも非常に多くの通報をうけています。

副会長：空き店舗の活用の実施状況はどうなっているか。

事務局：福祉政策課でやっています。地域でのコミュニティの活用ということで空き店舗を活用している。いい例としてスタートしているのが

ない状況です。色々な活動に空き店舗が活用できればよいと思う。

委員：高齢者、子ども、世代を超えて色々な人が一緒に使えるところ。

事務局：空き店舗というかたちでシャッター閉じてシャッター通りみたいになっているところが多くなってきている。そういうところを活用していければよいと思う。

委員：団体、NPO が利用するにしても、施設を運営していく人が張り付いてくれなければ。場所だけあっても人がいなければうまくいかない。

事務局：これは色々考えていかなければいけない。

副会長：振り込め詐欺が最近かなり多くなっているが、人権男女という視点とは少しずれるが、やはり人権問題として取り組んでいくのか、すでに取り組みがあるのかどうか。

事務局：私どもの市民経済部は消費生活の部門もあります。消費生活相談もあり、そこで悪徳商法も出てきますし、振り込め詐欺の話も出てきています。働いているときにお金を貯めて老後に使おうという方が犯罪にあってしまうと、その人の生活と人権はどうなってしまうのかというのがありますので、市としても安全安心の関係、警察、金融機関と共同で対応しています。

委員：子どもの虐待の話、家庭が機能していない家、子どもをほっぽり放し家ほかたくさん子どもを巡る状況があります。ファミサポのアドバイザー達の、能力や仕事の範囲を超えた相談がこのところ何件もある。そういう状況を踏まえて、厳しい状況にある人の相談が持ち込まれて来た時に、相談できるケースワーカーがついた相談窓口ところがあればよいと思う。また、複数の課に跨った問題が出てくると思うので。全部の問題を集約して振り分けてあげられるような場所があったらよい。

事務局：子ども相談課では国、県の事業の児童虐待関係、児童相談所と共に一義的な相談窓口ということでやっています。色々な相談に対しての回答を与えたり、調査に入ったりした場合の担当課として、子ども相談課があります。受理会議というのがあり、虐待ケースに対してどのような方向性を作るかという方針会議を2週間に1回ぐらいやっていて、毎回ケースが何十件です。何十件の中には実際の危害を受けるような危険な虐待というケースもありますが、子育て育児相談的なものの件数の方が多いので、割り振っていくのですが、キャパシティ的にきつくなってきている。虐待は、裏をとって地域で確認して、見定めていかないといけないが、1回タイミングずらしてしまうと子どもの命に関わったりするところがあるので、調査をするケースが増えてき

ている状況です。子ども部として対応をこれからも進めていくでしょうし、相談窓口機能の検討もやっているところです。とにかく受け入れていこうというかたちでやっている状況です。

副会長：その他どうですか。

委員：同和問題の正しい理解と啓発を、研修会で話し合うが、なかなか理解できない。私達、福祉の現場で働いている人達にも、広めてほしい。

事務局：人権出前講座を行っていきまして、施設等に出向いて講演会をしています。毎年市の事業で行っていきますので今後、福祉関係の人達に実施していきます。具体的には、別途相談させていただきます。

(2) その他

今年度現在までに実施した人権関係事業について（報告）

（事務局から説明を行った。質疑はなし）

今後のスケジュールについて

（事務局から予定はなし、緊急の場合日程調整する旨の説明を行った。）

< 閉会 >